

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	結核感染症課		結核感染症課 正林 督章		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-4 感染症の発生・まん延を防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成22年度子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金交付要綱 ワクチン接種緊急促進事業実施要領 ワクチン接種緊急促進基金管理運営要領				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生科学審議会予防接種部会における意見書や国際動向、疾病の重篤性等鑑み、3ワクチン(子宮頸がん予防(HPV)ワクチン、ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン)について予防接種を促進するための基金を都道府県に設置し、予防接種を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	3ワクチンの予防接種を促進するための基金を都道府県に設置し、市町村での接種事業に対し助成する。 負担割合(国1/2、市町村1/2)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	/	/	/	0
		補正予算	/	108,536	52,618	/	/	/
		繰越し等	/	/	/	/	/	/
		計	/	108,536	52,618	/	/	0
	執行額	/	108,536	52,618	/	/	/	
	執行率(%)	/	100%	100%	/	/	/	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	3ワクチンの疾病予防効果については、これまでの接種実績がなく、短期間での検証は困難であり、成果目標の設定は困難。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	接種者数		活動実績 (当初見込み)	人	-	2,159,453 (4,535,000人)	12,761,981 (8,187,000人)	- (2,780,000人)
単位当たりコスト	・子宮頸がん予防ワクチン 15,939(円/回) ・ヒブワクチン 8,852(円/回) ・小児用肺炎球菌ワクチン 11,267(円/回)		算出根拠	基準単価により算出(H24.5.1現在)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進特例交付金	0	0					
	計	0	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	厚生科学審議会予防接種部会における意見書や国際動向、疾病の重篤性等鑑み、特に接種促進が求められた3ワクチン(子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌)を対象としており、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	厚生科学審議会予防接種部会における意見書や国際動向、疾病の重篤性等鑑み、特に接種促進が求められたワクチン(子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌)であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	ワクチン価格等については、市場価格を勘案の上、基準単価を設置。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	厚生科学審議会予防接種部会における意見書や国際動向、疾病の重篤性等鑑み、特に接種促進が求められたワクチン(子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌)であり、受益者との負担関係は適確である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	厚生科学審議会予防接種部会における意見書や国際動向、疾病の重篤性等鑑み、特に接種促進が求められたワクチン(子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌)を対象としており、他の手段に比べて実効性の高い手段となっている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	当初見込みどおりの活動実績となっている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>予防接種部会における意見書や国際動向、疾病の重篤性等鑑み、特に接種促進が求められたワクチン(子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌)であり、実績も着実に向上していることから、引き続き積極的な接種の勧奨が必要である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
—	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	—		
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	0902

厚生労働省 52,618百万円

子宮頸がん予防(HPV)ワクチン、ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについて予防接種を促進



A 都道府県(47) 52,618百万円

子宮頸がん予防(HPV)ワクチン、ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについて予防接種を促進

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.東京都			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進特例交付金	都道府県への基金	4,972			
計		4,972	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業	4,972		
2	神奈川県	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業	3,806		
3	大阪府	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業	3,639		
4	愛知県	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業	3,409		
5	埼玉県	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業	2,981		
6	千葉県	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業	2,519		
7	兵庫県	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業	2,342		
8	福岡県	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業	2,214		
9	北海道	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業	2,016		
10	静岡県	子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業	1,592		